

シン学校プロジェクト(第1期) 一宮市立北部中学校基本計画(案) 地域説明会 当日質疑

- 日時:2025年(令和7)年11月2日 午前10時00分～午前11時30分
- 場所:北部中学校 屋内運動場
- 参加者数:35人
- 質疑応答:12件(11人) 詳細は、下記のとおり。
ご質問・ご意見の内容は、発言又は原文の一部を要約、分割するなどし、掲載しています。

| No. | ご質問・意見の概要 | 市の考え方(回答) |
|-----|--|---|
| 1 | 防災について考慮されているのでしょうか。 | 北部中学校の屋内運動場と武道館は、災害時に指定避難所となるため、1階に家庭科室を配置し、災害時には稼働して炊き出しができる想定としています。 |
| 2 | 地域開放エリアの方法としては、時間や期間、場所を限定しているのでしょうか。常時どこでも開放されるのでしょうか。開放の程度について説明していただけませんか。 | ルールとしては、生徒が利用していないなどの学校運営に支障がない時間を貸し出す想定をしています。詳しい時間帯や方法については、今後学校や地域の方と相談して進めます。基本計画の段階では、地域の方と子どもたちが一緒に利用できる学校を目指しています。 |
| 3 | 学校を使いたい場合は、申請が必要なのでしょうか。 | 現在は申込制となっていますが、将来的には利用する方の負担を考慮し、運用方法を検討していきます。 |
| 4 | 自由か自由でないかが重要だと思います。いつでも自由に利用できる方向性で進めるのでしょうか。現状のように申込制を基本としてやるのかについて、これからの検討になるのでしょうか。 | お見込みのとおりです。 |
| 5 | 複合化の調整の結果、特定の人しか利用できない公共施設が入ることもあるのでしょうか。その場合は特定の人のみが利用可能で、地域住民が使えないことになるのでしょうか。 | 複合化施設としてはいろいろな施設があるため、特定の人しか使えない施設が入ることもないとは言い切れません。地域開放の施設としては中学校の特別教室の開放も想定していますので、誰でも使える施設であると考えています。 |
| 6 | どの校舎を建て替えるのでしょうか。新校舎の高さはどのくらいでしょうか。南側にも校舎があるので、校舎の日当たりはどのようなのでしょうか。 | 建替え対象は北舎であり、北舎の日影が北側の住宅にかからないよう、少し南へ移動させて整備します。長さは95m、高さは14mとして、新校舎の日当たりとして南側の校舎の影の影響がない範囲で南に移動して配置する計画です。 |
| 7 | ・スケジュールに示されている7年後は何年度になるのでしょうか。 ・現在の生徒・クラス数と7年後のクラスの数について説明していただけませんか。 ・空調は設置されるのでしょうか。 | ・2026年度に複合化先を検討し、事業手法の検討が2027年度から始まりますので、そこから7年後だと2033年度ごろに使えるようになる見込みです。 ・現在の北部中は各学年6クラスで、少しずつ生徒数は減っていく予想となっていますが、今のところ将来的な統廃合の話まではできない状況です。 ・空調は現在も設置しており、新校舎にも設置いたします。 |
| 8 | 老人や障がい者が利用するエレベーターは設置されるのでしょうか。 | エレベーターは、地域開放エリアの階段横に用意しており、2階3階に行けるよう計画しています。 |
| 9 | ワークショップでも出ていたのですが、2階3階デッキテラスからの転落が心配です。転落防止策や転落後の対応については検討されていますか。今後検討されるのでしょうか。 | 転落防止の手すりなどの安全面については配慮いたします。尾西・木曾川エリアの学校にはベランダがありますが、子どもたちの自主性や教職員の配慮もあり、転落したという事例はありません。転落後の対応については、子どもたちが落ちないという前提のため考えていません。デッキテラスには夏場の直射日光を遮る効果があり、学習環境の向上や環境負荷の低減という意味でも採用されています。 |
| 10 | ・トイレは車いすで利用できるのでしょうか。 ・屋上はどのような使い方をされるのでしょうか。 ・他の学校の整備とのベンチマークとして共通事項については検討したのでしょうか。同じ設計にすれば費用は抑えられると思いますが、他の学校の整備との横並びについてはどのような考え方なのでしょうか。 ・他の学校との差異はないのでしょうか。 | ・トイレは車いすの方もご利用いただけます。 ・職員の目の届かない屋上についての、生徒の利用は考えていません。 ・どの学校を基準にするということは考えていません。あくまでも地域の方と話し合っ、どのような機能がよかななど、ご意見をいただいで整備します。 ・一宮市の基準として、必要な学校の機能は統一しますので、差異が出ない整備になる予定です。 |
| 11 | ・セキュリティについて具体的に教えていただけますか。 ・地域開放は学校区の住民のみを対象とするのでしょうか。他の学校区の市民も対象にするのでしょうか。 ・新校舎のイメージとしては木質化を目指しているのでしょうか、それとも無機質な感じなのでしょうか。 ・複合化施設の具体的な案があるのでしょうか。 ・教室と廊下の壁がないという計画について、イメージしやすく説明していただけませんか。 | ・セキュリティについては、地域開放の利用時間帯は学校エリアとの境界のシャッターを閉める等、一般利用者が学校のエリアに入らないように計画しています。防犯カメラなどは今後検討していきます。 ・地域開放については、複合化施設が決まってから誰が利用できるかは検討していきます。 ・木質化の検討については今後の基本設計や実施設計の段階で行われます。 ・複合化の施設はまだ決まっていない状態です。 ・教室と廊下の壁については、実際には間仕切りがありますが、開放することができ、広い空間として利用できる計画です。 |
| 12 | ・一般教室の収容人数について、最大どのくらいの生徒が入れるのでしょうか。 ・計画案には会議室などが記載されていますが、複合化後の利用内容について具体的に分かっている場合は教えていただけますか。 | ・2025年度5月時点の北部中の生徒数は572名(普通学級)で、今後少なくなっていくことが予想されます。現在の生徒数が無理なく使える学校施設を想定した計画です。 ・会議室は複合化施設の部屋を想定して記載しており、具体的な利用方法についてはまだ決まっていません。多目的室は教室でも会議室でも自由に利用できる形で考えています。 |
| 13 | 地域住民の負担(カンパ)はあるのでしょうか。 | 学校施設に関する費用を負担するのは国及び自治体として定められており、地域住民の皆さまに負担を求めることはありません。学校施設の財源としては、文部科学省の学校施設環境改善交付金を利用する予定をしています。学校の施設のための補助金と複合化する補助金では補助金の率が違ってくるため、より多くの補助金を利用できるよう複合化したいと考えています。市の税金の使用を少しでも減らしたいと考えての結果です。寄附については、市公式ウェブサイトにて公開しています。なお、これは自由な意思に基づく寄附を募るものであり、負担を強制するものではありません。 |
| 14 | ・今後、説明会はないのでしょうか。 ・仮校舎はどこに作る予定なのでしょうか。 | ・説明会については、現時点では今後行う予定はありませんが、今回説明した内容が大きく変わった場合には何かしら説明を行います。 ・仮設校舎の位置はグラウンドに設置することを考えており、給食の運搬に支障がないよう校舎に近い位置に配置する予定です。 |
| 15 | ・複合施設になる場合、担当部署が違ってくると思いますが、窓口は一本化してほしいと思います。 ・将来的に部活動の指導を営利団体に頼ることも検討されているのでしょうか。その場合、学校施設は営利団体でも利用できるよう検討されているのでしょうか。 | ・施設の複合化によって申請が煩雑にならないよう検討していきます。 ・現時点で部活動の地域移行で利用できるのは、学校教育課が認定した非営利団体のみです。 |
| 16 | 子どもが仮設校舎に通うこととなりますが、仮設校舎はどういう環境となるのでしょうか。 | 仮設校舎は校舎とは違ってパネル壁の校舎となり、壁が薄くなりますが、現在の校舎に近い環境で使用していただけるよう、冷暖房は完備し、教室に必要な設備は設置するという想定で計画しています。 |
| 17 | 北部中は北舎のみですが、ほかの学校はどこをどのように整備するのでしょうか。 | 富士小学校は全て建替え、大和南小は全面改修、小信中島小学校は北舎のみ建替えで、南舎は全面改修、南部中学校は南舎のみ建替えの計画としています。 |